

## 結果の考察

### <保護者アンケートより>

- ・最も評価の高かった項目は、児童のいろいろな行事への取組です。コロナ禍での実施であるため、感染症対策を十分に行うことによって、保護者の方々にはご迷惑をおかけすることもありましたが、ご理解・ご協力を得ることができたためと思います。また、中止や規模を縮小した行事があったものの、子供たちは運動会や校外学習等に一生懸命に取り組むことができたことが高評価を得た要因であると考えられます。また、1学期、2学期の授業参観は実施することができ、児童の頑張っている姿を見ていただく良い機会を設けることができたことも高評価に繋がったと考えられます。
- ・次に評価の高かった項目は、安全管理や健康管理のための取組です。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために様々な取組を行ったことが評価されたものと考えられます。授業参観や運動会では、入場者の健康チェックや入場制限を行ったこと、全校集会等では、リモートで行ったことで児童の健康管理に努めることができました。また、PTAの方々や職員の合同安全点検も行うことができ、安全管理の面でも充実した取組を行うことができたと思います。
- ・最も評価の低かった項目は、児童の読書活動への取組です。「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した保護者の方は63.3%でした。学校では朝の読書活動や休み時間の図書室の利用、図書委員会による本の紹介など読書活動に力を注いでおりますが、家庭で日常的に読書を行う児童が少ない状況のようです。来年度は、ノーメディアデーを週に2日に増やすなど、本に接する機会を増やしていければと考えております。
- ・大幅に評価が下がっている項目は、家庭・地域との連携・協力です。コロナ禍において、行事等の中止や縮小、また、臨時休校などにより行事の日程が詰まったものになり、保護者の皆様にご迷惑をおかけしたことに起因していると考えられます。来年度は、行事等の日程を無理のないように計画するとともに、地域と連携できるものを増やしていきたいと思っております。
- ・記述欄には学校の取組に対してのご理解と賞賛があった一方で、クロームブックの持ち帰りの件、行事の実施の在り方、予定の急な変更、ホームページの充実、児童の登下校に対するご意見等がありました。貴重なご意見をいただきありがとうございます。今後の課題として改善に向けて努力して参りたいと思っております。

### <児童アンケートより>

- ・ほとんどの項目で前回（7月）より評価が上っており、全体的に高評価の結果となりました。その中でも最も評価が高かった項目は、先生は分かりやすく勉強を教えてくれるという項目でした。今年度は、GIGA スクール構想で1人1台の端末が児童に配付されたことにより、教師が積極的にICTを活用し、工夫して授業を行ってきたことによると考えられます。
- ・次に評価が高かった項目は、教師の安全指導に対する評価です。日常より安全な登下校に対して指導していることや避難訓練（火災、地震、不審者）を充実させていることにより、児童一人一人の安全に対する意識は高くなっていると考えられます。
- ・最も評価が低かった項目は、家庭での自主学習への取組です。家庭学習の習慣化が十分に図れていないことが推察されます。しかし、前回よりは数値が上っており、教師の働きかけやクロームブックの活用などが好影響を及ぼしていると考えられます。
- ・また、いじめはなく教室は安心できる場所であるという項目の数値が低かったです。しかし、改善傾向にあり、いじめの認知件数は昨年度の3分の2に減っています。いじめ防止に向けて引き続き十分な取組を行っていくとともに、注意深く子供たちを観察していきたいと思っております。

### <職員アンケートより>

- 高評価だった項目は、安全管理や健康管理、保護者や地域への情報発信、いじめのない学級づくりなどの項目です。いじめのない学級づくりの項目では、教職員の評価は高いですが、児童の評価については改善傾向にあるもののあまり高くなく、更なる工夫や取り組みが必要であると感じました。
- 改善傾向にある項目が多く、教職員の意識の変化が伺われます。特に、本校では GIGA スクール構想のもと ICT 機器の活用による授業改善に取り組んでおり、「分かりやすい授業を行っている」「子どもの興味や意欲を高める工夫をしている」と回答する教職員が増えました。
- 一方、低評価であった項目は、英語活動の充実、家庭学習の充実、読書活動などの項目でした。英語については、教科化されたことにより、教える内容が増えたことや難しくなったことが起因していると考えられます。高学年においては、中学校英語の免許をもつ教員が受け持つことで、より生きた英語に触れさせ、子供たちの興味・関心を高めてきました。他の教員についても、英語学習の研修を充実させていきたいと思えます。
- また、家庭学習や読書活動については、保護者、児童ともに低くなっており、今後の重点課題となっています。特に家庭学習については、子供たちは宿題を提出するものの、内容がともなわないものや自主的なものになっておらず、充実した家庭学習の習慣の定着に向け、さらに工夫していく必要があると感じました。
- 続いて低評価であった項目は、家庭・地域との連携・協力です。新型コロナウイルス感染症の影響が大きいですが、コロナ禍においても充実した活動ができるように、工夫していく必要があると感じました。来年度は、「ウィズ コロナ」を目指して頑張っていきたいと思えます。